

平成十六年度卒業研究論題

和歌・連歌用語の語彙研究

西澤 由佳

『匠材集』を中心に連歌用語の変遷について

『匠材集』について

須藤真奈美

『匠材集』について

秋山恵理佳

『匠材集』における連歌用語について

白井麻衣子

『匠材集』について

久保田侑子

『匠材集』について

石ヶ谷なぎさ

『日本霊異記』における狐の話について

穴見 朋子

『匠材集』についての研究

柴山 知子

『日本霊異記』における転生譚について

平澤 晶子

『匠材集』についての研究

鹿又 綾子

『日本霊異記』における病氣治癒の話について

森 さゆり

和歌・連歌用語の語彙研究

松下 暁子

和歌・連歌用語の語彙研究

篠沢久美子

『日本霊異記』における貧女譚について

須原 絵美

和歌・連歌用語の語彙研究

島田 由加

『匠材集』について

佐藤あすか

『日本霊異記』における冥界について

谷 友希恵

『匠材集』について

淀野 友美

親不幸譚にみえる母子について

二味友味子

『匠材集』について

有住 真衣

『匠材集』についての語彙研究

平出麻衣子

『日本霊異記』における

仏教と僧の位置づけについて

重村 麻美

- 『日本霊異記』に見る殺生について 望月 良子
- 『伊勢物語』における花の歌 平川 千絵
- 『源氏物語』の女性―花散里― 青木 早苗
- 『源氏物語』桐壺卷 上條 麗華
- 『源氏物語』より紫の上と和歌
―紫の上と光源氏の愛の証― 菊地 雅子
- 「紫式部」が作品の中に残したものの 鈴木亜耶子
- 空海小考 井上 恵
- 百鬼夜行をめぐって 津川真理子
- 百鬼夜行の研究 高橋 藍子
- 小野篁の研究 鈴木あゆみ
- 小野小町像を考える 山崎めぐみ
- 桜島忠信説話をめぐって 田口乃理子
- 博雅三位の説話をめぐって 井上 陽子
- 日藏上人説話の考察 三戸亜希子
- 藤原保輔説話を考える 岩岡 敦美
- 文学作品における小大君と為頼 大石 理紗
- 説話における安倍晴明像 川崎 雅美
- 清少納言の説話を巡って 戸田 千恵
- 和泉式部説話の伝承をめぐって 齋藤 早織
- 鳥羽院説話小考 高橋沙登子
- 文覚を巡って 伊吹 美保
- 西音法師の和歌をめぐって 和田 夏子
- 明快座主をめぐる考察
―宇治拾遺物語「後朱雀院丈六仏奉作給事」を中心に―
- 宇治拾遺物語 田村 麻依
- 「秦兼久、通俊卿のもとに向かひて悪口の事」について 岸本紗代子
- 宇治拾遺物語における 貫之関連説話をめぐって 中野 恵美
- 『十訓抄』巻八ノ第八話
「業平を待つ女」を巡って 高槻ゆりか
- 古今著聞集の澄憲について 山口 真帆

古今著聞集における

藤原家隆をめぐって

川口 綾菜

歌人・藤原知家について

佐賀奈穂子

清水物語の諸本をめぐって

山田夕里可

『義経記』について

丸山紗弥佳

芥川龍之介の作品

川田 有希

芥川龍之介「二つの手紙」とシュニツレル「アンドレアス・

タアマイエルが遺書」

八重樫 舞

村上春樹

『風の歌を聴け』『1973年のピンボール』について

渡邊 向絵

ラジオドラマにおける声の演技

平根 愛

『ガラスの仮面』における

スタニスラフスキー論のあり方

雨宮 美緒

小説『港町きらきら』

玉置 恵子

小説『輪廻』

市原 智子

小説『月のない夜に星の唄を』

東海 芙美

小説『小さな祈り』

山崎 一恵